

## 令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

公益財団法人SGH財団

本年度においても新型コロナウイルス感染症が、生活のあらゆる側面に影響を及ぼしたが、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、コロナ禍においても、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関するオンラインによる市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的に、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国に対してオンライン講義の提供を行った。

### I 事業の概要

#### 公益目的事業

#### 1 留学生奨学事業

##### (1) SGH奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和3年4月17日までに100大学から111名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、奨学金の受給者を選出、理事会の決議を経て、次のとおり奨学支援を行った。

第36期SGH奨学生：20名

（一人当たり月額12万円、給付期間2年間）

年間給付額：2,880万円（令和3年4月～令和4年3月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
ケルビン ユー	マレーシア 宇都宮大学 農学部
タン ジェン シン	マレーシア 都留文科大学 文学部
グエン ホン フオン	ベトナム 福岡女子大学 国際文理学部
アリファ アッザーラ	インドネシア 拓殖大学 国際学部
メロディー ラオ チウ イイ	マレーシア 明治大学 経営学部
エンジェリン タン アンチー	マレーシア 立教大学 異文化コミュニケーション学部
レー ティー トウイ リン	ベトナム 福井工業大学 環境情報学部
フン ティ ビツ ニュー	ベトナム 日本福祉大学 国際福祉開発学部
シスワン マッチマ	タイ 京都精華大学 マンガ学部
インダ ウランダリ	インドネシア 大阪産業大学 工学部
グエン レ ジエム	ベトナム 天理大学 国際学部
レ フオン リー	ベトナム 環太平洋大学 経営学部
グエン ティ フオン ティ	ベトナム 吉備国際大学 農学部
ルアンシン スパナート	タイ 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部
ジョセリン アン サワリ	マレーシア 福島大学大学院 共生システム理工学研究科
ティーム チャンソワンダー	カンボジア 東京工業大学大学院 環境・社会理工学院
ニコー シュ セン デイー	マレーシア 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科
ソー タンダー アウン	ミャンマー 岡山大学大学院 自然科学研究科

ヴー ティ トゥイ バン

ベトナム  
徳島大学大学院 創成科学研究科

ゴ スアン トゥク

ベトナム  
東京農業大学大学院  
国際食料農業科学研究科

第1期SGH特定奨学生：5名

(一人当たり月額18万円、給付期間2年間)

年間給付額：1,080万円(令和3年4月～令和4年3月)

氏名 国籍  
大学/研究科 (敬称略・順不同)

アッチャラーパン ワンロップ

タイ  
帯広畜産大学大学院 畜産学研究科

フン ニャット タン

ベトナム  
長岡技術科学大学大学院 工学研究科

リリー シティ ソリハ

インドネシア  
金沢大学大学院 自然科学研究科

ソム ソクリ

カンボジア  
東京農業大学大学院 農学研究科

ホ マン トウン

ベトナム  
立命館アジア太平洋大学大学院  
アジア太平洋研究科

第35期SGH奨学生：16名

(一人当たり月額12万円、給付期間2年間)

年間給付額：2,304万円(令和3年4月～令和4年3月)

氏名 国籍  
大学/学部・研究科 (敬称略・順不同)

チャオ マン シェン

マレーシア  
秋田大学 国際資源学部

レアウ ヤウー ホング

マレーシア  
東京農工大学 工学部

リュウ イー ファン

マレーシア  
長崎大学 経済学部

フン グェン アイン

ベトナム  
福岡女子大学 国際文理学部

ネルソン ホー イー ヘン

マレーシア  
多摩美術大学 美術学部

ダニエル ハキム ビン ムハマド カマル	マレーシア 帝京大学 理工学部
ヴォ ミン ダン	ベトナム 関西学院大学 国際学部
レー グェン キュー カン	ベトナム 吉備国際大学 社会科学部
グェン タン ダット	ベトナム 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ジョセリン ラウ ミン ユエン	マレーシア 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科
クスマワルダニ マウリンダ	インドネシア 大阪大学大学院 理学研究科
ハニファ オミ ユリアニ	インドネシア 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
スー ヤダナー ライン	ミャンマー 佐賀大学大学院 理工学研究科
ヴ ティ リン チ	ベトナム 東北大学大学院 法学研究科
ラティ プラティウイ	インドネシア 静岡大学大学院 人文社会科学研究科
ファム ティ タイン タオ	ベトナム 東京外国語大学大学院 総合国際研究科

## (2) 奨学生交流活動

2021年度SGH奨学生、SGH特定奨学生採用証書授与式

第36期SGH奨学生ならびに第1期SGH特定奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時 令和3年10月18日(月) 11:00～12:00

内 容 2021年度SGH奨学生、SGH特定奨学生採用証書授与式

## (3) 刊行物発刊

### ① 奨学生報告集「2021年度版 アジアの和」

第36期SGH奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第35期SGH奨学生の私の夢について掲載、令和3年10月に250部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

### ② 第35期 令和4年3月卒業奨学生 研究成果・感想文集

令和4年3月に卒業した第35期SGH奨学生16名の研究成果・感想文集を令和4年2月に225部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団

関係者に配付した。

## 2 助成事業・褒賞事業

### (1) 第33回SGHがん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満45歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和3年6月30日までに78機関から192件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：25件 金額：2,500万円（1件当たり100万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
青木 重樹	千葉大学大学院薬学研究院生物薬剤学研究室講師 分子標的薬への抵抗性を示すがん細胞“集団”を形成する仕組み	
浅田 騰	岡山大学病院血液・腫瘍内科助教 末梢神経バランス制御による白血病制御機構の解明と新規治療法の開発	
植田 航希	福島県立医科大学輸血・移植免疫学講座講師 骨髄増殖性腫瘍およびクローン性造血から急性骨髄性白血病へ進展する機序の解明と進展予防法の開発	
岡村 亮輔	京都大学医学部附属病院消化管外科特定病院助教 大腸癌ステージIV根治術症例の個別化癌治療に向けた血液由来ctDNAバイオマーカーの探索	
笠島 裕明	大阪市立大学大学院医学研究科臨床医科学専攻癌分子病態制御学 研究員 抗原提示性癌関連線維芽細胞が大腸癌腫瘍免疫に及ぼす影響の解析及び癌免疫療法への応用	
熊谷 尚悟	国立がん研究センター研究所細胞情報学分野外来研究員 肝臓腫瘍における代謝環境に着眼したがん治療耐性機構の解明	
小林 祥久	国立がん研究センター研究所分子病理分野研究員 肺がんの薬剤耐性における細胞間の相互作用	
小林 大貴	東京薬科大学生命科学研究科腫瘍医科学研究室助教 解糖系酵素PFK1のがん悪性化における役割解明とがん化学療法 応用可能性の検討	

- 佐藤 晋彰 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター頭頸科医師  
頭頸部扁平上皮癌の浸潤及び転移に寄与する転写リプログラミング機構の解明
- 佐野 紘平 神戸薬科大学薬品物理化学研究室准教授  
酵素反応に基づきがん特異的な薬物送達および治療効果を達成するポリマー型放射性薬剤の開発
- 白上 洋平 岐阜大学医学部附属病院第一内科講師  
メタボリック症候群を基盤病態とした大腸発癌における分子異常と DNA メチル化
- 数藤 孝雄 大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学助教  
造血器腫瘍における骨髄免疫微小環境の解明
- 長町 安希子 広島大学原爆放射線医科学研究所附属放射線先端医学実験施設助教  
SAMD9/9L 症候群と IFN シグナルから迫る MDS 発症の分子メカニズム
- 仁科 惣治 川崎医科大学肝胆膵内科学准教授  
がん局所で光温熱効果を介した内包薬剤放出作用を発揮する次世代型ナノ薬物送達システムの開発
- 仁科 隆史 東邦大学医学部医学科生化学講座病態生化学分野助教  
大腸がん関連間質繊維芽細胞を標的とする大腸がん新規治療法の開発
- 仁平 直江 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子遺伝分野特別研究員  
免疫チェックポイント分子を標的とした乳癌の転移・浸潤制御機構の解明
- 福本 毅 神戸大学医学部附属病院皮膚科助教  
がん代謝のエピゲノム制御から解明するメラノーマの病態
- 松田 諭 慶應義塾大学医学部外科学（一般・消化器）助教  
食道癌における宿主と腫瘍の複合的評価による腫瘍モニタリングシステム確立と腫瘍微小環境による全身性炎症凝固異常誘導メカニズムの解明
- 三浦 恭子 熊本大学大学院先導機構／大学院生命科学部老化・健康長寿学講座准教授  
最長寿齧歯類特有の発がん耐性機構の解明とその応用
- 美馬 浩介 熊本大学病院地域医療連携ネットワーク実践学寄附講座特任助教  
炎症性シグナルを介したフレイルを有する消化器癌患者の病態解明
- 宮林 弘至 東京大学医学部附属病院消化器内科特任臨床医  
膵癌分子サブタイプ basal-like 型における血管擬態のメカニズムの解明と治療法の開発

向井 康治朗	東北大学大学院生命科学研究科細胞小器官疾患学分野助教 がん免疫療法への応用を目指した自然免疫応分子 STING の活性化収束の分子機構の解明
森嶋 達也	熊本大学国際先端医学研究機構幹細胞ストレス研究室特任助教 抗炎症薬のドラッグ・リポジショニングによる薬剤耐性白血病クローンの根絶
吉見 昭秀	国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所がん RNA 研究ユニット独立ユニット長 臓器特異的スプライシング変異の理解に基づくがん治療標的の探索
渡邊 翼	京都大学複合原子力科学研究所放射線生命科学研究部門粒子線生物学研究分野（京都大学白眉センター兼務）特定准教授 癌微小環境を標的とした中性子捕捉療法の開発

## (2) 第3回SGHがん看護研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がん看護に携わる日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和3年6月30日までに20機関から20件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：12件 金額：600万円（1件当たり50万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
浅田 裕美	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野研究生 放射線治療を受けるがん患者が位置合わせに必要なマーキングに対して抱く感情とその関連要因：探索的質的研究	
浅野 志保	仙台赤門短期大学看護学科成人看護学領域助教 終末期がん患者と家族間の対話を、看護師が支援するに際して用いる自己評価尺度を開発する研究	
雨宮 歩	千葉大学大学院看護学研究院生活創製看護学部門健康増進看護学講座助教 外来化学療法を受ける消化器がん患者の身体活動に対する認識とその実態	
岩井 美世子	名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻高度実践看護開発学講座博士後期課程2年 喉頭全摘出者における代用音声(シャント発声)選択のための意思決定支援ツールの開発	

寸田 佳	社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院外来化学療法センターがん化学療法看護認定看護師 Nab Paclitaxel に起因する末梢神経障害に対するフローズングローブ使用による予防効果の研究
高岸 弘美	山梨県立大学看護学部成人看護学領域講師 肺切除を受けたがん患者の退院後早期の在宅療養におけるサポートケア・ニーズに関する研究
田中 登美	奈良県立医科大学医学部看護学科成人慢性期看護学教授 がん薬物療法を受ける糖尿病を併せ持つがん患者のセルフマネジメント橋渡し支援の開発
原 健太郎	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター手術センター看護師 全身麻酔下下部消化管腫瘍手術において術中手術台ローテーションが上下肢灌流指標に及ぼす影響
箕浦 侑加	聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科高度実践看護コースがん看護学領域博士前期課程／浜松医科大学医学部附属病院看護部緩和ケアセンター 乳がん化学療法による爪症状が患者の日常生活に及ぼす影響とその対処
森 奈緒美	熊本大学病院外来化学療法センター副看護師長 がん薬物療法による末梢神経障害に対する圧迫療法による予防効果の検討
森 裕香	徳島大学大学院保健科学教育部ストレス緩和ケア看護学分野博士前期課程大学院生 がん性創傷を有する患者のケアに関わる看護師のケアを困難にさせる要素
渡壁 美香	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院看護部看護副部長 地方がん拠点病院においてコロナ禍で外来化学療法を受ける患者の思いと受診行動に及ぼす影響

### (3) 第19回SGH特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を、医学部を有する大学、学会、がん診療連携拠点病院等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和3年6月30日までに17件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名 所属・役職／受賞テーマ (五十音順)

菊池 章 氏 大阪大学大学院医学系研究科分子病態生化学教授  
Wnt シグナルによる細胞機能制御とその異常によるがんの病態

戸井 雅和 氏 京都大学大学院医学研究科外科学講座乳腺外科学分野教授  
乳癌の診断、治療法の研究：新しい手術法、画像診断機器、薬物療法  
の開発

#### (4) 第 19 回 S G H 看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を、CNS コースを有する大学、学会、看護協会等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和 3 年 6 月 30 日までに 12 件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事長の承認を得て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2 件 総額：200 万円（1 件当たり 100 万円）  
栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名 所属・役職／受賞テーマ (五十音順)

秋元 典子 氏 甲南女子大学看護リハビリテーション学部学部長・教授  
がん患者およびがんサバイバーとその家族の治療や生活に関する意思決定を支援する看護実践指針の開発

牧野 智恵 氏 石川県立看護大学教授  
実存的苦悩を抱くがん患者の生きる意味を呼び覚ます看護 ～  
V.E. フランクル理論の応用～

#### (5) 授与式・授賞式の開催

第 33 回 S G H がん研究助成金受領者、第 3 回 S G H がん看護研究助成金受領者を対象とした授与式、第 19 回 S G H 特別賞授賞式、第 19 回 S G H 看護特別賞授賞式を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 4 年 1 月 18 日）に掲載した。

日 時 令和3年11月27日(土) 11:00～12:30  
場 所 ホテルグランヴィア京都  
内 容 第33回SGHがん研究助成金授与式  
第3回SGHがん看護研究助成金授与式  
第19回SGH特別賞・SGH看護特別賞授賞式

(6) 研究成果報告集の刊行

第32回SGHがん研究助成金受領者、第2回SGHがん看護研究助成金受領者及び第18回SGH特別賞受賞者、第18回SGH看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と令和3年度のがん研究振興事業報告を掲載し、「2021 SGHがん研究報告 Vol.32」を令和4年3月に1300部発刊し、全国の大学、研究機関、病院等に配付した。

3 がんに関する市民講座の開催

第20回市民公開講座をオンライン配信により次のとおり開催した。  
なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊(令和4年3月24日)に掲載した。

第20回市民公開講座

「ウィズコロナ時代の新たながん医療とは」

日 時 令和4年2月27日(日) 13:00～16:00

講演(各30分)

「がんとライフスタイル ～生活習慣を見直しがんを防ごう」

津金 昌一郎 氏

(国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所理事  
国立健康・栄養研究所所長)

「がんと感染症 ～感染症を予防・治療してがんを防ぐ」

宮城 悦子 氏

(横浜市立大学医学部産婦人科学教室主任教授  
横浜市立大学附属病院産婦人科部長)

「がんと遺伝 ～遺伝カウンセリング・検査からがんの予防へ」

植木 有紗 氏

(公益財団法人がん研究会有明病院臨床遺伝医療部部長)

パネルディスカッション(60分)

モデレーター: 平岡 眞寛 氏

パネリスト: 津金 昌一郎 氏、宮城 悦子 氏、植木 有紗 氏

コーディネーター 平岡 眞寛 氏（日本赤十字社和歌山医療センター院長）  
小西 郁生 氏（国立病院機構京都医療センター名誉院長）  
司 会 植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）  
参加者数 1858 名  
後 援 公益財団法人日本対がん協会  
協 力 SG ホールディングスグループ

## その他事業

### 1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

### 2 人材育成支援事業

#### (1) 日中友好物流人材育成支援研修

本事業については、本年度は休止した。

#### (2) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国のラオス国立大学で物流を専攻する学生 63 名に下記のとおりオンライン講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 3 年 5 月 17 日（月）～5 月 21 日（金）  
アーカイブ配信 令和 3 年 5 月 24 日（月）～5 月 31 日（月）

内 容 第 4 期ラオス物流集中講義  
物流概論、物流オペレーション

#### (3) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン交通大学で物流を専攻する学生 242 名に下記のとおりオンライン講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和3年7月5日(月)～7月9日(金)  
アーカイブ配信 令和3年7月19日(月)～7月26日(月)

内 容 第6期ベトナム物流集中講義  
物流概論、物流オペレーション

## II 処務の概要

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：7名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SG ホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長／佐川急便株式会社会長
理事	大久保 潔	SG ホールディングス株式会社総務部秘書ユニット 参事
理事	小西 郁生	独立行政法人国立病院機構京都医療センター名誉院長
理事	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
理事	平岡 眞寛	日本赤十字社和歌山医療センター院長
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
理事	堀江 未来	立命館大学国際教育推進機構教授
監事	奥村 和義	紫野税理士法人代表社員
監事	北村 善和	北村善和税理士事務所所長

#### (2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授 名古屋市立大学名誉教授
評議員	佐野 友紀	佐川グローバルロジスティクス株式会社社外監査役
評議員	武藤 誠	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事・ 医学研究所長 京都大学大学院医学研究科連携大学院教授
評議員	根本 好教	元財団法人社会安全研究財団専務理事
評議員	馬場 完造	馬場完造税理士事務所
評議員	松本 秀一	SG ホールディングス株式会社代表取締役

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：9名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	葛野 正彦	いすゞ自動車販売株式会社取締役副社長
顧問	河野 伊一郎	独立行政法人国立高等専門学校機構顧問 倉敷芸術科学大学学長顧問 岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐谷 秀行	慶應義塾大学病院副院長 臨床研究推進センター長
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長 日本ラオス協会会長
顧問	畠 清彦	国際医療福祉大学医学部教授 国際医療福祉大学三田病院副院長・悪性リンパ腫血液腫瘍センター長
顧問	三嶋 理晃	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院院長
顧問	山岸 久一	京都府立医科大学名誉教授（元学長）

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年5月17日 (みなし決議)	第36期SGH奨学生及び第1期SGH特定奨学生採用決定の件	承認
令和3年6月10日 (みなし決議)	令和2年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	令和2年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	顧問9名選任の件	承認
	SGホールディングス株式会社第15回定時株主総会における議決権行使の件	承認
	決議の省略の方法による定時評議員会開催の件	承認

令和3年6月29日 (みなし決議)	理事長選定の件	承認
	理事長に事故があるときの職務代行順位選定の件	
令和3年9月17日 (みなし決議)	第19回SGH特別賞受賞者決定の件	承認
	第19回SGH看護特別賞受賞者決定の件	承認
	第33回SGHがん研究助成採択決定の件	承認
	第3回SGHがん看護研究助成採択決定の件	承認
令和4年3月22日	令和4年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件、SGH特定奨学生積立基金積立の件	承認

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年6月29日	令和2年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	理事7名選任の件	承認
	令和3年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① SGH奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年5月9日	第36期SGH奨学生の選考に関する件、第1期SGH特定奨学生の選考に関する件	対象者を選出

② SGHがん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年9月10日	第33回SGHがん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ SGHがん看護研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年8月25日	第3回SGHがん看護研究助成選考に関する件	対象者を選出

④ S G H特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年8月4日	第19回S G H特別賞選考に関する件	対象者を選出

⑤ S G H看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和3年8月12日	第19回S G H看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

(2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としている。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
令和3年6月30日	事業報告等の提出
令和3年7月14日	変更の届出
令和4年3月30日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

なし

## 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

公益財団法人SGH財団